

OFFICIAL ANNOUNCEMENT

2013/1/17

補足説明

1. サーマルパットについて

- * 熱の元はI/Oの作動時から来ており、M5Pro-両面16個のFlashの設計により、比較的に高い放熱性をもたらすことが出来ます。従来のM5Pと同等の放熱性になります。
- * M5P 及びM5Proの設計上、双方とも一つ感温ICを持っており、ドライブの温度が設定温度を超えた時に、Plextor FW の設計により即座に周波数を落とす機能(Drop Frequency)を起動させ、ドライブを守ります。サーマルパットは従来のM5Pの補助の役割を果たしており、M5Proの設計変更により、デザインを変えました。

2. 信頼性

- * M5P及びM5Proは同じく Toshiba 19nm processを使用しており、Flash製品の品質は同じである。しかもToshibaの厳しい品質チェックをPassしています。
- * 一般的の使用状況下、16KB/pageのGCは確かに8KB/pageより資源を使います。但しPlextor FW はbuffer management方式の改良により、従来のM5P と同じ資料の書き込み性能を向上させ、尚且つ無駄なGCの回数を抑える、FWの技術によりM5Pro とM5P双方ともに厳格な長時間高温書き込み/読み込みテストをPassすることが出来ます。
- * M5P & M5Pro 双方ともPlextorエンタープライズグレードのゼロエラー規定を400pcsのドライブを使用し、500時間の標準テストをクリアしております。
- * 試作品の段階でPlextorが要する最先端設備でテスト実行し、厳格な運用と環境テストを行った結果、240万時間のMTBFを実現しました。

Minnie Lin

Marketing Manager
Sales & Marketing Div.
PLDS Corporation